

—To-Collaboプログラム—

これからの地域活動にご理解・ご協力をお願い申し上げます

本学が平成25年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」の採択を受けて推進してきましたTo-Collaboプログラムは、5年の採択期間の最終年度を迎えました。

本事業は、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としており、本学はTo-Collaboプログラムとして、全国にキャンパスを有する総合大学の強みを生かした「全国連動型地域連携活動」を柱に、地域特有の課題や全国共通の課題を基に4計画8事業を設定し、課題解決に努めてまいりました。また、地域連携活動を推進する部署として設置されたTo-Collabo推進室は、今年度よりエクステンションセンターと統合し、地域連携センターとして大学と地域を結ぶ要となるような役割が期待されております。

これまでも「教育」「研究」「社会連携」「国際連携」を大学の使命として様々な活動を進め、現代社会を生き抜くために必要な力を身につけるため、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つの力を設定し、既成の概念にとらわれず、新しいことにチャレンジする人材の育成を着実に実践してまいりました。

本学は、2017年に創立75周年を迎えました。グローバル時代を牽引する世界標準の人材を育成し、世界に存在感を示せる大学たるべく、2018年4月には、新たに文化社会学部と健康学部の2学部の開設や改組、地域連携を前提とした「パブリック・アチーブメント（PA）型教育」の導入を含めた大幅なカリキュラム改訂を実施いたします。本学は建学の理念である「人類の幸福と恒久的平和の達成」に向けて、QOL（=Quality of life）の向上を定めました。健やかな社会の構築に向けて、教育・研究・連携をはじめとする諸活動を通じ、QOLの向上のために全学を挙げ積極的に取り組んでまいります。教育機関として、「人と社会と自然の共生」の実現のため、世界で活躍する人材育成に努め、新しい東海大学の確立を目指してまいります。

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」の採択期間は、今年度で終了となりますが、今後も大学の地域連携活動の継続と更なる充実を図るとともに、教育改革を進め、地域との連携を深化させ、本学が地（知）の拠点として社会への責任をより一層果たす所存です。それぞれの地域の皆さま、関係者の皆さまにも変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東海大学 学長

山田 清志